

平成29年7月8日
地域連絡協議会資料

小平・村山・大和衛生組合 管理者 小林正則様

副管理者 尾崎保夫様、 藤野 勝様

3市共同資源化事業事務局、3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会御中

平成29年6月29日

3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会地域委員

森口恵美子

公の場において、連絡協議会・連絡協議会委員について 間違った認識を与える行政の一方的な発言についての報告

平成29年6月16日の【(仮称)3市共同資源物処理施設の整備と今後の廃棄物処理について】街づくり条例に基づく懇談会において、行政サイドの担当者から、あたかも、連絡協議会地域委員や周辺住民が一方的に悪いという印象を与える不適切な発言がありました。

環境影響調査に住民が協力をしなかった旨については、協議を重ねる過程で、住民がこれを認めると建設に同意したことになる旨の衛生組合職員の発言があったため、同意できなかったものです。

また、出前説明の申し出を協議会委員が拒んでいる旨については、理解が出来る説明が、何十回も開催された連絡協議会の中でさえ行われていないためです。

いずれについても、それらにいたる理由は、行政側に問題があるということを連絡協議会の席で申し上げていることです。

街づくり条例に基づく懇談会の質疑時間は短く、参加者に発言は1回という制限をかけたうえで、あたかも、連絡協議会地域委員や周辺住民が一方的に悪いという印象を与える不適切な発言に、行政との溝は、より深いものになりました。

(ICレコーダーより起こした担当職員の発言を添付いたします。)

上記をご報告するとともに、4団体においては、3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会について、行政サイドによる偏った情報ではなく正しい情報の発信をお願いする次第です。

ICレコーダーより起こした担当職員の発言

【発言 1.】

松本部長：

コストを出していかないと言う話ではありません。今後出していくのは当然のことと思います。ただ、ちょっと、これ、ごめんなさい。個人的な、今までこれをやってきた思いにはなってしまうんですけどやはりそれ（ICレコーダー聞き取れず）かけるやり方はあると思うんですが、ただ議論するからには、最初から反対をしていこうとか、そういう形だと、やっぱ難しいと思うのね。

（質問者、それは松本さんの思い込み・・・略）

ただね、なんで、じゃあ、わたしの言いたいことがございまして、あの申し訳ないんですけど、なんで、私が、被害妄想みたいなのを抱いているかと（ICレコーダー聞き取れず）言い方をするとね。

例えば、今までいろいろと周辺住民の方と協議会を重ねてきたことの中で、一番最初の具体的な事例を言いますと、本来求められていない生活環境調査もやはりやるべきだろうということで、意見を取り入れた訳ですね、で、取り入れて本来一定の期間をとって測定すれば形をとれば良くて、でも、いやいや、そうではないだろうと言うことを受けて、私達は春夏秋冬と一年をかけて現況調査をやった訳ですね。

じゃあ、定点調査だけでなく上空もやってくださいと住民から言われました。じゃあやりますよということで受けました。そしたら、やろうと思ったらだめだよ、上空なんか貸せないよと言われたんです、でも、そんな話し・・・（質問者の発言でさえきられる）

【発言 2.】

松本部長：

私達は別途申し出ていただければと思います。1人でも3人で行く説明させてくださいと言っています。ただ、あの協議会の中で、代表は全員から付託を受けているので説明に来る必要はないということで拒まれ続けているんです。

ですからあそこのマンションに関しては説明に行けないのも事実なんですね。われわれも言いたいことがあるので今日は言わせてもらいました。